

—医師、歯科医師、薬剤師の皆さんへ—

# 臨床現場での歩行障害へのアプローチ

日 時 2024 年 7 月 13 日 (土) 午後 5 時～

会 場 兵庫県保険医協会 6 階会議室 (神戸フコク生命海岸通ビル/元町駅南へ徒歩 8 分)

講 師 足利赤十字病院 院長補佐 **後藤 淳** 先生

来場定員 50 人 \*現地参加は必ず事前にお申し込みください。  
お申し込み後のキャンセルもご連絡をお願いします。

参加費 無 料

歩行障害は、日常診療でよくみる病態です。起立・歩行は、神経系を含む複雑な機構に支えられ、診療の基本は問診と診察(観察)です。歩き方(歩容)の診察だけで多くの情報が得られます。診察室での観察と生活史の聴取も重要です。頻度の高いパーキンソン病の診断の要所と多様性の理解で診察は興味深くなります。“歩けないから自転車に乗る”、“階段ならうまく歩ける”パーキンソン病と“階段だけはうまく下れない”動作特異的ジストニア。“小刻み歩行”に隠れた“下半身パーキンソニズム”や“正常圧水頭症(iNPH)”も、“歩行時ふらつき”に、体位変換時の血圧変動(“autonomic failure”)や感覚性失調(sensory ataxia)が潜むことに気づけば診療戦略も変わります。【後藤 記】

お問い合わせは、兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1840 まで

## 【Zoom視聴の申し込み ※会員のみ】

右の URL または QR コードから  
お申し込みください。案内メール  
が送付されます。

<https://x.gd/A19iY>



## 【来場参加の申し込み】 fax 078-393-1820

郡市区 \_\_\_\_\_ 医療機関 \_\_\_\_\_

お名前 \_\_\_\_\_ 職種 \_\_\_\_\_ Tel \_\_\_\_\_ Fax \_\_\_\_\_